

特定非営利活動法人 奈良県防災士会

令和6年度 第1回 理事会 議事録

1. 日 時 令和6年7月1日（月） 午前9時30分から10時20分
2. 場 所 三宅町保健福祉施設 あざさ苑
3. 出席者数 理事総数18名のうち出席者数13名

出席者役員

理事	石川 啓子	理事	板垣 伴之	理事	植村 信吉
理事	大北 容子	理事	岡本 泰典	理事	北村 厚司
理事	小山 英子	理事	末田 政一	理事	杉村 正春
理事	西田 則子	理事	八幡領 光隆	理事	南上 敏明
理事	八木 沢 潔				
監事	古瀬 博之	監事	堀田 東作		

4. 報告事項

- 報第1号 令和5年度総会能登半島支援について
- 報第2号 奈良県防災総合訓練について
- 報第3号 県アドバイザー制度について
- 報第4号 お天気フェアについて
- 報第5号 講師派遣依頼の流れと報告様式
- 報第6号 広報誌について
- 報第7号 本部等に関する報告について

5. 協議事項

- 議第1号 理事長、副理事長の選任について
- 議第2号 顧問、参与の委嘱について
- 議第3号 組織体制（地区ブロック及び専門部会と事務局）について
- 議第4号 総会別紙について
- 議題5号 頒布品について
- 議題6号 当面の日程について

6. その他

7. 議事の経過の概要及び議決の結果

(1) 開会

理事八幡領光隆氏が開会を宣言した。

司会者である八幡領理事から本会が定款第36条第2項に基づき成立している旨の報告がなされた。

(2) 理事長選出

定款第14条第2項により、理事長に末田政一理事とすることを理事全員一致で選任した。被選任者は席上その就任を承諾した。

(3) 定款第35条により理事長が議長を務める。

(4) 議事録署名人の選出及び書記記録人の指名

議長より議事録署名人選出に関する事項を諮ったところ、「議長一任」の声があったので、議長は議事録署名人に板垣伴之理事・石川啓子理事を指名し、選任された各氏は、その就任を承諾した。なお、本理事会記録者に八幡領理事を指名した。

(5) 議事審議

議長が議事の審議開始を宣言した。

一. 報告事項

報第1号 令和5年度総会能登半島支援について

八木沢理事から以下のとおり報告された。

石川県能登町で災害ボランティア活動支援を行った。珠洲市と比較し支援ボランティアが少ないといった状況である。2日間10名で片付け活動を行ったが、家屋内は震災発災当時のままとみられる。1月の地震以降、6月の時点でもまだまだ片付いていない、支援を望む被災者は多い。しかし、能登町災害ボランティアセンターは9月までという情報も聞いている。レスキューアシストが拠点としていた日置ハウスを7月には退去し新たな拠点を珠洲市内で検討しているとのこと。奈良県防災士会の活動で宿泊先にお困りの際は相談してほしいとのこと。まだまだ支援活動が必要と感じた。

続いて、板垣理事より以下のとおり報告された。

災害支援特別会は次のとおり。収入は、会員からのカンパ寄付が405,256円、ボラバスの自己負担金12名分で120,000円、村山理事の寄付100,000円、合計625,256円。支出は、ガソリン代、レンタカー代606,003円差し引き19,253円であった。

続いて、八幡領理事より以下のとおり報告された。

現地で仕入れた情報であるが、現地での滞在施設として能登町少年自然の家がある。一泊310円とのこと。

報第2号 奈良県防災総合訓練について

末田理事長から以下のとおり報告された。

安全・安心まちづくり推進課が防災統括室に統合されたので、今年から防災統括室からの依頼で活動することになる。それ以外は未定である。

報第3号 県アドバイザー制度について

末田理事長から以下のとおり報告された。

名称が奈良県自主防災アドバイザーに変更となる。これまで通り県の事業を受けて個人で活動していただく。

報第4号 お天気フェアについて

小山理事から以下のとおり報告された。

8月6日火曜日開催である。場所は西紀寺の奈良地方气象台となる。これまでと異なる内容は次のとおり。防災センターと比べて狭い。駐車場がなくアクセスは公共交通機関となる。また、今年は共催として県の砂防災害対策課のブース設置とNHK奈良放送局がVRを利用した災害体験が用意される。奈良県防災士会としては、紙芝居に代わって、地震の際の危険箇所クイズと工作「牛乳パックで作るホイ

ッスル」を作ってもらおうことを考えている。さらにサバイバル調理例の見本を展示する。

報第5号 講師派遣依頼の流れと報告様式

末田理事長から以下のとおり報告された。
新しい様式へ変更とする。古い様式から差し替えとする。

報第6号 広報誌について

末田理事長から以下のとおり報告された。
次回理事会で広報誌発送を予定する。

報第7号 本部等に関する報告について

植村理事から以下のとおり報告された。
本部前副理事長大石氏が使い込みを行った。除名処分とした。(永久処分)
総会の案内が届いていると思うが、定款改正が一つ。本部で実務を仕切る人がいなかったため担当者を置くというもの。本部総会に臨むがこれから前を向いていけることを考える総会になればよいと考えている。
続いて、石川理事より以下のとおり報告された。
本部ダイバーシティーでは防災国体に向けて活動中である。
続いて、板垣理事より以下のとおり報告された。
プラットフォームでは7月30日に2024年度第一回会議開催予定である。

二. 協議事項

議第1号 理事長、副理事長の選任について

副理事長の選任について、末田理事長から以下のとおり提案がなされた。
八幡領光隆理事、小山英子理事2名を副理事長とする。
上記について、理事会で諮ったところ、質問意見なしであったため、表決を求めたところ全員一致で副理事長選任を承認した。

議第2号 顧問、参与の委嘱について—

議第3号 組織体制（地区ブロック及び専門部会と事務局）について
末田理事長から以下の提案がなされた。

相談役 植村 信吉 理事
事務統括 八木沢 潔 理事（新任）
経理統括 板垣 伴之 理事
広報部長 勝川 喜仙 理事
災害ボランティア担当 大坂間 弘明 理事（新任）
北和ブロック長 古瀬 博之 理事
中和ブロック長 南上 敏明 理事
南和ブロック長 杉村 正春 理事
ダイバーシティー防災推進委員 石川 啓子 理事
教育研修担当 岡本 康典 理事（新任）
参与 木村 尚史 氏 杵島 良仁 氏 村山 央 氏（新任）

顧問 木本 喜信 氏 井上 清 氏 高山 宏芳 氏(新任)

上記について、理事会で諮ったところ、質問意見なしであったため、表決を求めたところ全員一致で承認した。

議第4号 総会別紙について

末田理事長から以下の提案がなされた。

総会で配布した別紙について不具合があったため、その対応について意見を求めた。理事からはホームページでお詫びを含めた案内文掲載ではどうかという意見がでた。上記について、理事からの意見を踏まえに表決を求めたところ全員一致で承認した。

議題5号 頒布品について

末田理事長から以下の提案がなされた。

大坂間理事より、夏季の活動でも涼しいものを検討してはどうかというもの。

事務局または三役で具体的な仕様等を決定し、改めて理事会で諮ることとする。

議題6号 当面の日程について

八幡領理事から会議資料より説明があり修正、追加等が行われ、議場に諮ったところ可決承認がなされた。

三. その他

次回理事会の日程について協議の結果下記のとおり決定した。

次回理事会は、通常理事会とする。

日 時 令和6年8月24日(土) 午前中

会 場 未定

以上をもって、議長から理事会の議事が終了した旨が述べられ、閉会が宣言された。

以上、この議事録が正確であることを証し、この議事録を作成し、議長及び議事録署名人が署名捺印する。

令和6年 月 日

議 長 ⑩

議事録署名人 ⑩

議事録署名人 ⑩